

THE NEW VALUE FRONTIER

 **KYOCERA**

証券コード 6971



第61期中間報告書

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで

京セラ株式会社

京セラの経営哲学

社 是

敬天愛人

〈敬天愛人〉

常に公明正大謙虚な心で仕事にあたり

天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
共に生きる (LIVING TOGETHER) ことをすべての
企業活動の基本に置き、豊かな調和をめざす。

心をベースに経営する

京セラは、資金も信用も実績もない小さな町工場から出発しました。頼れるものは、なけなしの技術と信じあえる仲間だけでした。会社の発展のために一人ひとりが精一杯努力する、経営者も命をかけてみんなの信頼にこたえる、働く仲間のような心信じ、私利私欲のためではない、社員みんなが本当にこの会社で働いてよかったと思う、すばらしい会社でありたいと考えてやってきたのが京セラの経営です。

人の心はうつろいやすく変わりやすいものといわれますが、また同時にこれほど強固なものもないのです。その強い心のつながりをベースにしてきた経営、ここに京セラの原点があります。



名誉会長

稲盛和夫

目次

京セラの経営哲学

ごあいさつ…………… 1

当中間期の連結業績の概況… 2-3

事業セグメント別の状況…… 4-5

特集 もっと知りたい京セラ … 6-13

連結財務諸表…………… 14-16

連結貸借対照表…………… 14-15

連結損益計算書…………… 16

連結キャッシュ・フローの状況… 16

会社概要…………… 17

株主メモ

ごあいさつ

平素は京セラグループに対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

平成26年9月30日をもちまして終了しました第61期中間期（当中間期）の業績及び事業内容につきましてご報告いたしますので、ご高覧いただきますようお願い申しあげます。



当中間期の売上高は、スマートフォンをはじめとしたデジタルコンシューマ機器、産業機械、並びに自動車関連市場向けの部品や複合機等の情報機器の販売増により、第60期中間期（前年中間期）に比べ増収となり、上半期としては過去最高の売上高を達成することができました。

下期も引き続き、京セラグループの総合力による部品事業の拡大に努めるとともに、スマートフォン等の機器事業での積極的な新製品投入により、「情報通信市場」、「環境・エネルギー市場」、「自動車市場」、「医療市場」の4つの重点市場での収益拡大に努めてまいります。

当社は本年4月をもちまして、創業55周年を迎えることができました。この間、オイルショックやITバブルの崩壊、世界金融危機等、さまざまな経済及び事業環境の急激な変化に遭遇しました。しかし、人の心をベースとした企業哲学である「京セラフィロソフィ」と独自の経営管理システムである「アメーバ経営」を確実に実践し、創業以来、一度も赤字を計上することなく今日まで事業拡大を図ることができました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申しあげます。

株主の皆様におかれましては、京セラグループに対して引き続き一層のご支援、ご高配を賜りますようお願い申しあげます。



代表取締役会長

久芳 徹夫



代表取締役社長

山口 悟郎

当中間期の連結業績の概況

□ 経済及び事業環境

当中間期の国内経済は、設備投資は緩やかに増加したものの、消費税率引き上げの影響により個人消費が低迷し、前年中間期に比べ伸び悩みました。海外においては、米国経済は堅調な個人消費や設備投資の伸びを背景に拡大し、中国経済も安定した成長が続いた一方で、欧州経済は内需の低迷により減速傾向となりました。

当社の主要市場であるデジタルコンシューマ機器市場においては、新興国を中心にスマートフォンの需要が伸び、また、自動車市場においては、中国や米国を中心に販売が順調に増加しました。一方、国内の太陽電池市場は、消費増税や政府による住宅用太陽光発電システムの導入支援補助金が終了したこと等の影響により、成長率は大幅に鈍化しました。

□ 連結業績

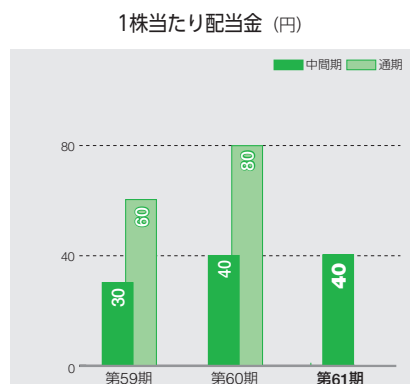
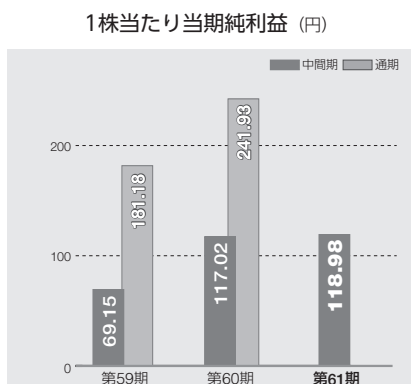
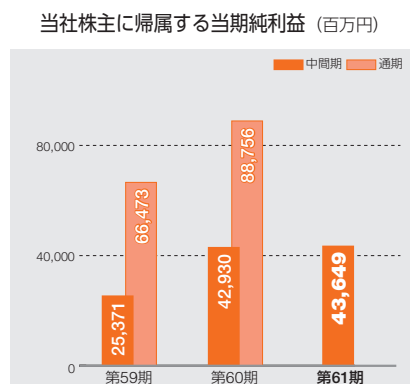
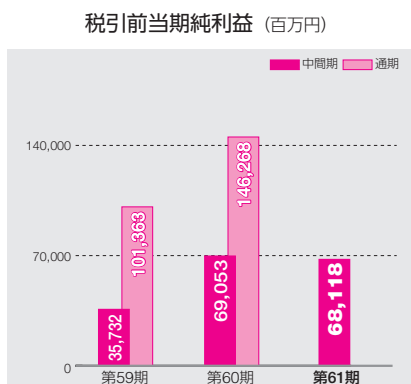
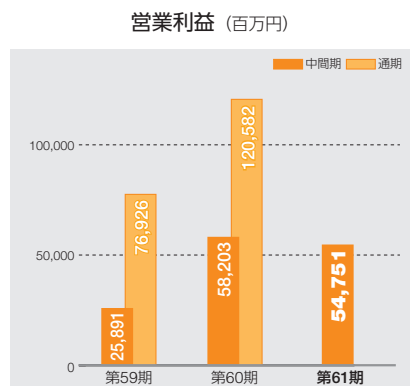
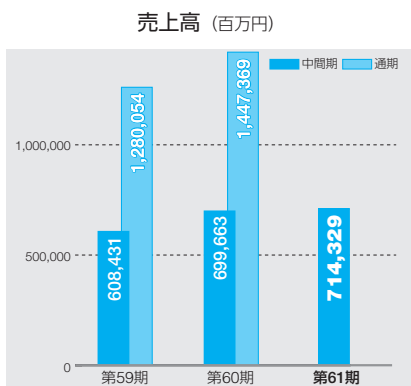
前期に構造改革を実施した電子デバイス関連事業や、通信機器関連事業等が減収となったものの、半導体部品関連事業や情報機器関連事業の増収により、当中間期の売上高は前年中間期の6,996億63百万円に比べ146億66百万円(2.1%)増加の7,143億29百万円となりました。

利益については、情報機器関連事業の大幅な増益に加え、ファインセラミック部品関連事業や電子デバイス関連事業も2桁の増益となったものの、製品価格の下落を主因にファインセラミック応用品関連事業の利益が減少しました。営業利益は前年中間期の582億3百万円に比べ34億52百万円(5.9%)減少の547億51百万円、税引前中間純利益は前年中間期の690億53百万円に比べ9億35百万円(1.4%)減少の681億18百万円となりました。一方、当社株主に帰属する中間純利益は、国内の税制改正に伴う税金費用の減少等により、前年中間期の429億30百万円に比べ7億19百万円(1.7%)増加の436億49百万円となりました。

なお、当中間期の平均為替レートは、対米ドルは前年中間期の99円に比べ4円(約4%)円安の103円、対ユーロは前年中間期の130円に比べ9円(約7%)円安の139円となりました。

当社は、米国会計基準に準拠して連結財務諸表を作成しています。
また、本中間報告書の表示金額は百万円未満を四捨五入して記載しています。

◆ 連結業績の推移



当社は、平成25年10月1日に普通株式1株を2株に分割する株式分割を実施しました。
上記1株当たり当期純利益及び1株当たり配当金については、当株式分割が第59期期首に行われたと仮定して記載しています。

事業セグメント別の状況

■ 中間期 ■ 通期 () 前年中間期比

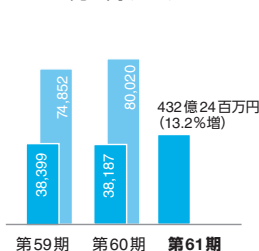
◆ ファインセラミック部品関連事業

当中間期
売上高構成比

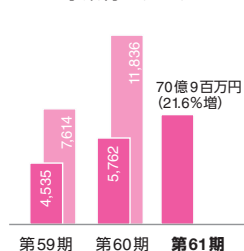


半導体製造装置等の産業機械向け部品や車載用カメラモジュール等の売上が増加したことにより、当事業セグメントの売上高及び事業利益は前年中間期に比べ大幅に増加しました。

売上高 (百万円)

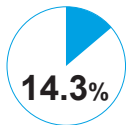


事業利益 (百万円)



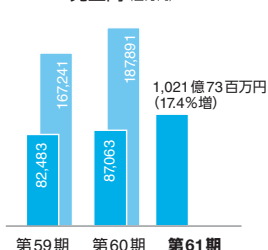
◆ 半導体部品関連事業

当中間期
売上高構成比

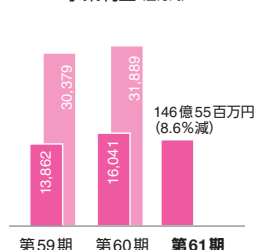


平成25年10月に連結子会社となった京セラサーキットソリューションズ(株)の売上貢献、通信インフラ及びデジタルコンシューマ機器向けのセラミックパッケージの売上が増加したことにより、売上高は前年中間期に比べ増加しました。しかし、サーバー向けの有機パッケージの需要減少や価格下落の影響等により、事業利益は前年中間期に比べ減少しました。

売上高 (百万円)

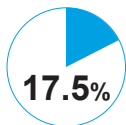


事業利益 (百万円)



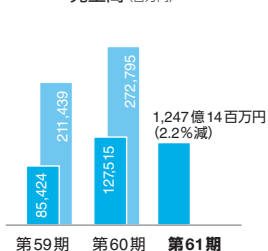
◆ ファインセラミック応用品関連事業

当中間期
売上高構成比

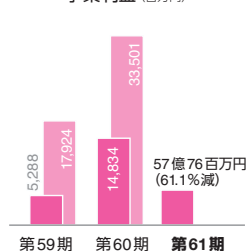


機械工具事業は、自動車関連市場等における生産の伸びを背景に順調に推移しました。一方、ソーラーエネルギー事業は、公共・産業用大型案件の売上が前年中間期に比べ減少しました。また、太陽電池価格の下落の影響もあり、当事業セグメントの売上高及び事業利益は、前年中間期に比べ減少しました。

売上高 (百万円)

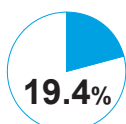


事業利益 (百万円)



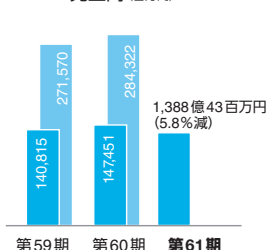
◆ 電子デバイス関連事業

当中間期
売上高構成比

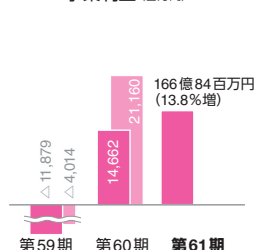


スマートフォン向け部品の売上は順調に増加したものの、前期に一部の事業を縮小する構造改革を実施した影響により、当事業セグメントの売上高は前年中間期に比べ減少しました。しかし、原価低減及び構造改革の効果等により、事業利益は前年中間期に比べ大幅に増加しました。

売上高 (百万円)



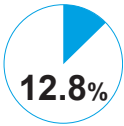
事業利益 (百万円)



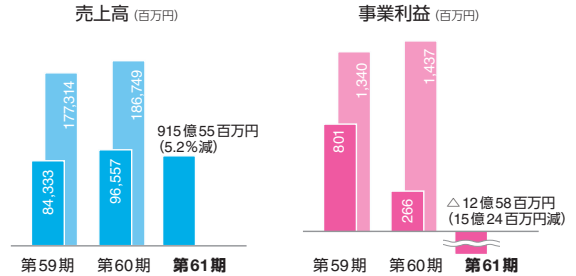
■ 中間期 ■ 通期 () 前年中間期比

◆ 通信機器関連事業

当中間期
売上高構成比

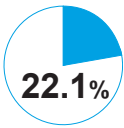


新モデルの投入等により海外売上は増加したものの、国内での需要が減少したことにより、当事業セグメントの売上高及び事業利益は前年中間期に比べ減少しました。

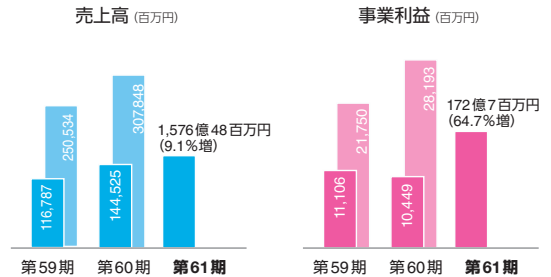


◆ 情報機器関連事業

当中間期
売上高構成比



積極的な市場開拓や新製品の拡販活動を進めたことにより、複合機を中心に販売台数が増加した結果、売上高は前年中間期に比べ増加しました。事業利益は、消耗品等の売上の増加や原価低減の効果もあり、前年中間期に比べ大幅に増加しました。

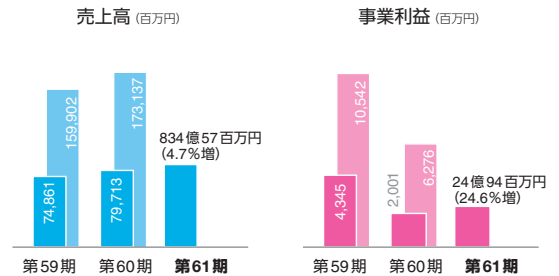


◆ その他の事業

当中間期
売上高構成比



当事業セグメントの売上高は、京セラコミュニケーションシステム(株)及び京セラケミカル(株)等の増収により、前年中間期に比べ増加しました。また、事業利益は増収効果により前年中間期に比べ増加しました。



注)「調整及び消去」(△3.8%)の項目があるため、4ページ及び5ページに記載の売上高構成比の合計は100%になりません。

更に詳しくお知りになりたい方は
当社ホームページをご覧ください

<http://www.kyocera.co.jp/>

素材・部品から機器、サービスまで、 事業の多角化とグループの総合力により、持続的な成長を目指す

京セラは、セラミック等の素材から、部品、デバイス・機器、システム・サービスまで、多岐にわたる事業をグローバルに展開しています。

京セラは各事業間の連携を強化するなど、「グループの総合力」を発揮し、これまで培ってきた製品や技術の応用展開による開発強化や販売ネットワークの活用により、さらなる成長を目指すとともに、「情報通信」、「環境・エネルギー」、「自動車」、「医療」の4つの市場を重点市場と捉え、これらの市場での事業拡大に努めています。



京セラの原点であるファインセラミックスとは

京セラはファインセラミックスの専門メーカーとしてスタートしました。ファインセラミックスには絶縁性や耐熱性などさまざまな特性があり、京セラはこれらの特性を活かし、幅広い産業に対し製品を供給してきました。

ファインセラミックスは、陶器やガラス、レンガなどと同じ焼き物の仲間です。ファインセラミックスの原料には、アルミナやジルコニアなど、いろいろな種類がありますが、使用する原料の種類や粒子の細かさ、焼き方などを変えることで、それぞれ違った特性を持たせることができます。

ファインセラミックスの応用例

- ◆ ディスプレイ部を振動させて、相手の声が聞き取りやすい「スマートソニックレシーバー®」



- ◆ 熱伝導の良いセラミックフライパン



- ◆ 金属より硬いため切れ味が長持ちするキッチンナイフ



- ◆ 海底地震計のセラミック耐压容器



- ◆ 人体と親和性が高いセラミックスの人工関節



- ◆ 金属成分を含まないので、金属アレルギーの方にも安心なセラミックピアス



※「スマートソニックレシーバー」は京セラ株式会社の登録商標です。

高度な技術を支える京セラの部品

京セラの部品は、スマートフォンなどのデジタルコンシューマ機器や自動車など、さまざまな製品の多彩な機能や高度な技術の実現に欠かせません。また、多くの部品が世界シェアNo.1^{※1}となっています。

No.1 世界シェア No.1 製品

デジタルコンシューマ機器向け部品

電気を蓄える



小型セラミック
コンデンサ

タンタルコンデンサ

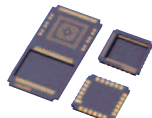


電気配線を 接続する



コネクタ

カメラのセンサ を保護する



イメージセンサ用
セラミックパッケージ



LED素子を 保護する



LED用セラミック
パッケージ



正確な信号を発信する

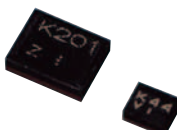


サーミスタ付
水晶振動子

水晶発振器
(TCXO)



必要な電波を 分離する



SAWデバイス

部品を保護する



SAWデバイス/水晶部品用
セラミックパッケージ



自動車向け部品

ディーゼルエンジンの燃費向上、 排気ガス中の有害物質発生を抑制する



ピエゾスタック



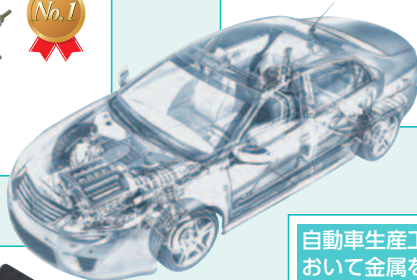
セラミック
グロープラグ



安全を確認する



カメラ
モジュール



さまざまな情報処理に 対応する

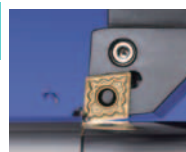


液晶ディスプレイ



水晶振動子

自動車生産工程 において金属を削る



切削工具

※1 シェアは当社調べ。2014年9月現在。

8 ※2 サーミスタ付水晶振動子、水晶発振器(TCXO)はスマートフォンを含む携帯電話用途において。

暮らしの中の京セラ製品 — 携帯通信端末

au 向け 高耐久性スマートフォン **TORQUE®** (トルク)

過酷な環境下での使用を前提とする米国国防総省の調達基準 (MIL-STD-810G) に準拠したテストにおいて 11 項目をクリア



[TORQUE G01]

優れた防水性

30 分間にわたる降雨や浸水に対応

堅牢性

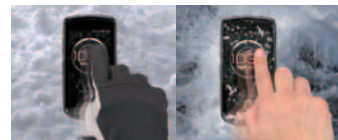
過酷な環境下の作業現場や海・山でのアウトドアで活躍

騒々しい場所でも聞きやすい

京セラ独自の「スマートソニックレシーバー®」を搭載

快適な操作性

手袋をしていても、画面が濡れていても操作が可能



au 向け もっと聞きやすく、さらに簡単・便利に「簡単ケータイ」 **K012**

雑踏の中でも相手の声が聞きやすい

京セラ独自の「スマートソニックレシーバー®」を搭載

見やすく、わかりやすく、押しやすいキー

ワンタッチキーやスライド式電源スイッチなど、直観的に分かりやすいキーを採用

あんしん・便利な機能を多数搭載

かんたんモード、防犯ブザー、安心ナビなど



そのほか、特長ある新端末が続々登場

<http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/>

※「TORQUE」は京セラ株式会社の登録商標です。

暮らしの中の京セラ製品 - セラミックキッチンシリーズ

セラミックナイフの発売30周年を記念し、このたび、セラミックキッチングッズの人気シリーズ「カラフルキッチンシリーズ」の新ラインナップとして、セラミックナイフ、スライサー、おろし器、ピーラーの新モデルを発売しました。



ナイフ



スライサー

おろし器



ピーラー



フライパン



京セラの「セラブリッド®」フライパンが累計出荷枚数100万枚を突破しました。新製品として、軽量化を実現した新モデルも登場しました。

温まりやすく、省エネ調理

熱伝導の良さと遠赤外線効果で、すばやく調理

傷つきにくく、洗やすい

硬質のセラミック加工、汚れも簡単に落とせる

さまざまな熱源に対応

直火やIH調理器、どちらにも対応

※焦げ付きの原因になるので、中火以下でお使いください。



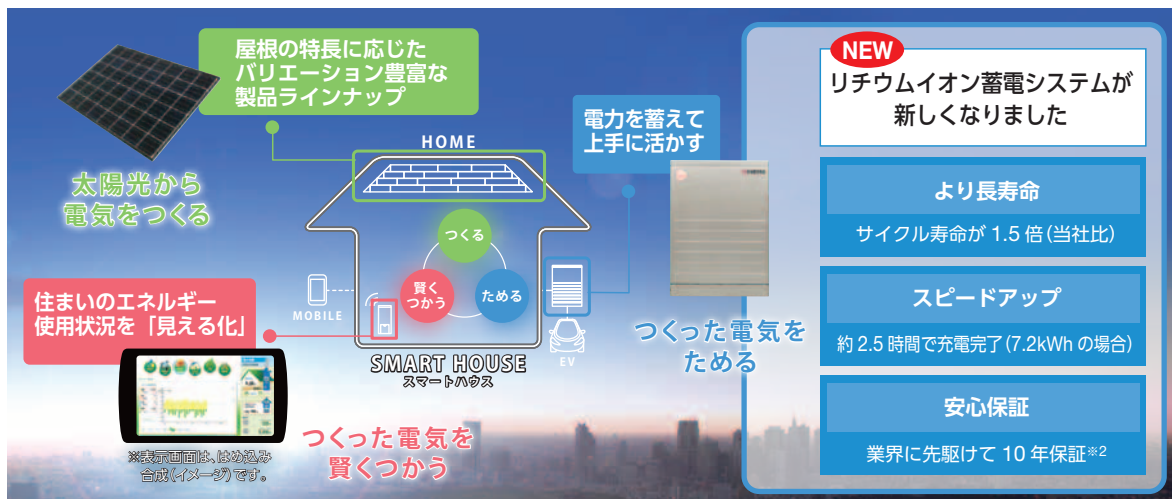
そのほか、キッチン用品・ステーションナリーの魅力ある製品が満載

<http://www.kyocera.co.jp/living/>

※「セラブリッド」は京セラ株式会社の登録商標です。

暮らしの中の京セラ製品 - 太陽光発電

太陽光発電で電気をつくり、蓄電池で蓄えて、HEMS^{*1}による電気の「見える化」を実現。エネルギーを効率的に使用できるのが京セラのスマートハウスです。



※1 ホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略

※2 構成機器または各部分の製造上の不具合や蓄電池の充電可能容量^{*3}が50%を下回った場合に、無償修理(10年保証)をいたします。

※3 充電可能容量とは25℃の常温環境で測定した場合の残存率(電池容量維持率)です。

世界最大規模^{*4} 水上設置型メガソーラー発電事業の展開

京セラは、兵庫県に完成予定の世界最大規模の水上設置型メガソーラー発電所向けに太陽電池モジュールと周辺機器の供給を行うとともに、発電システムの建設・保守・維持管理を行います。

水上設置型メガソーラー発電所の概要

- 所在地：兵庫県加東市(西平池、東平池の2カ所)
- 出力規模：西平池 約1.7MW、東平池 約1.2MW、合計 2.9MW
- 太陽電池設置枚数：255Wの京セラ製太陽電池モジュール合計11,256枚
- 年間予想発電量：合計約330万kW
一般家庭約920世帯分の年間電力消費量に相当^{*5}
- 発電開始：2015年4月(予定)

※4 水上設置型太陽光発電所において(2014年8月29日時点)

※5 1世帯当たり3,600kW時/年で算出 出典：電気事業連合会「電力事情について」



水上設置型メガソーラーの設置イメージ

写真協力：SOLARWAVE(ソーラーウェイブ) 安来株式会社
フロートシステム：株式会社シエル・テール・ジャパン

製品ラインナップなど詳しい情報を掲載

<http://www.kyocera.co.jp/solar/>

京セラの社会貢献活動

京セラは1959年の創業以来、人類、社会の進歩発展に貢献することを願い、さまざまな機会を通じて社会貢献活動を行っています。

中国少年友好交流訪日団を招待

「感受性が高く大きな夢を持つ子どもたちに異なる文化を経験し、将来は日中友好の架け橋となってほしい」という願いを込め、1997年より中国の子どもたちを日本に招待しています。

本年は30名の子どもたちが参加しました。



地元の小中学校130校に「京セラ文庫」を寄贈

2014年に当社創立満55周年を迎えたことを記念し、京セラグループの主要な工場・事業所25拠点の地元小中学校130校に、「京セラ文庫」として、計約5,000万円分の図書の寄贈を行いました。



森づくり活動

京セラでは、地球温暖化防止や生物多様性保全などの環境問題への対応、地域社会への貢献、従業員の環境意識向上を目的に、京セラの森づくり活動を積極的に展開しています。



京セラ本社の文化施設のご案内

京セラでは、地域振興と文化の発展を願い、文化事業の一環として、京都市にある本社ビルにさまざまな文化施設を開設しています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

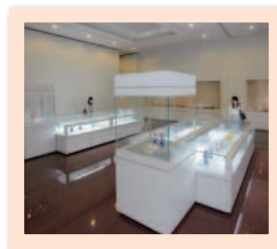
京セラファインセラミック館

京セラファインセラミック館では、当社創業以来のファインセラミック技術の発展過程を公開しています。



京セラ美術館

ピカソ銅版画347シリーズ等の常設展示をはじめ、2014年秋季に開催した「竹久夢と大正浪漫の世界」などの特別展も随時開催しています。



ショールーム

「自動車関連」「通信・ネットワーク関連」「情報機器関連」「生活文化・医療」「産業機器・その他」の産業分野において活躍する京セラの最新製品やサービスをわかりやすく展示しています。



【開館時間】	午前 10:00 から午後 5:00
【入館料】	無料
【休館日】	土日・祝日・会社休日、 特別休館日

京セラ本社イルミネーションのご案内

京セラ本社では、クリスマスまでの数週間、約21万個のLEDを使ったイルミネーションと、ビルの窓と室内照明を用いた巨大クリスマスツリーの点灯を実施しています。2014年は12月1日から12月25日まで実施予定です。

※巨大クリスマスツリーの点灯は、12月15日から12月25日まで。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期	増減金額
	平成26年3月31日現在	平成26年9月30日現在	
(資産の部)			
流動資産	1,367,435	1,368,096	661
現金及び現金等価物	335,174	297,800	△ 37,374
一年以内償還予定負債証券及び持分証券	115,900	128,194	12,294
その他短期投資	160,331	149,534	△ 10,797
受取手形	22,054	19,261	△ 2,793
売掛金	257,850	266,008	8,158
貸倒引当金及び返品損失引当金	△ 5,062	△ 5,410	△ 348
たな卸資産	335,802	360,522	24,720
繰延税金資産	41,499	48,243	6,744
その他流動資産	103,887	103,944	57
固定資産	1,269,269	1,405,577	136,308
投資及び長期貸付金	753,059	893,881	140,822
負債証券及び持分証券	738,212	867,772	129,560
その他長期投資	14,847	26,109	11,262
有形固定資産	270,557	271,343	786
土地	63,268	62,834	△ 434
建物	344,167	348,474	4,307
機械器具	826,881	832,367	5,486
建設仮勘定	11,821	13,133	1,312
減価償却累計額	△ 975,580	△ 985,465	△ 9,885
営業権	116,632	117,897	1,265
無形固定資産	59,326	58,110	△ 1,216
その他資産	69,695	64,346	△ 5,349
資産合計	2,636,704	2,773,673	136,969

負債証券及び持分証券

株価上昇による保有有価証券の時価評価額の増加及び債券の購入により増加しました。

(単位:百万円)

科目	前期	当中間期	増減金額
	平成26年3月31日現在	平成26年9月30日現在	
(負債の部)			
流動負債	327,451	351,922	24,471
短期債務	4,064	4,792	728
一年以内返済予定長期債務	12,360	10,180	△ 2,180
支払手形及び買掛金	122,424	124,776	2,352
設備支払手形及び未払金	48,224	51,043	2,819
未払賃金及び賞与	56,068	57,357	1,289
未払法人税等	23,353	17,121	△ 6,232
未払費用	31,347	54,059	22,712
その他流動負債	29,611	32,594	2,983
固定負債	322,027	333,409	11,382
長期債務	19,466	19,010	△ 456
未払退職給付及び年金費用	36,812	32,919	△ 3,893
繰延税金負債	235,954	263,846	27,892
その他固定負債	29,795	17,634	△ 12,161
負債合計	649,478	685,331	35,853
(純資産の部)			
株主資本	1,910,083	2,009,597	99,514
資本金	115,703	115,703	—
資本剰余金	162,666	162,733	67
利益剰余金	1,415,784	1,444,758	28,974
累積その他の包括利益	250,963	321,447	70,484
自己株式	△ 35,033	△ 35,044	△ 11
非支配持分	77,143	78,745	1,602
純資産合計	1,987,226	2,088,342	101,116
負債及び純資産合計	2,636,704	2,773,673	136,969

繰延税金負債

保有有価証券の時価評価額の増加に伴い、これに対応する繰延税金負債が増加しました。

累積その他の包括利益

保有有価証券の時価評価額の増加に伴い、「未実現有価証券評価損益」が増加したことに加え、円安により「為替換算調整勘定」が増加しました。

連結財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前年中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減率 (%)
純売上高	699,663	714,329	2.1
売上原価	518,916	525,286	1.2
売上総利益	180,747	189,043	4.6
販売費及び一般管理費	122,544	134,292	9.6
営業利益	58,203	54,751	△ 5.9
その他収益・費用 (△)			
受取利息・配当金	8,692	11,104	27.7
支払利息	△ 1,022	△ 880	—
為替換算差損益	1,768	1,923	8.8
その他—純額	1,412	1,220	△ 13.6
その他収益・費用計	10,850	13,367	23.2
税引前中間純利益	69,053	68,118	△ 1.4
法人税等	23,281	21,055	△ 9.6
非支配持分帰属損益控除前中間純利益	45,772	47,063	2.8
非支配持分帰属損益	△ 2,842	△ 3,414	—
当社株主に帰属する中間純利益	42,930	43,649	1.7
1株当たり情報			
当社株主に帰属する中間純利益			
— 基本的	117円02銭	118円98銭	
— 希薄化後	117円02銭	118円98銭	
期中平均株式数			
— 基本的	366,875千株	366,866千株	
— 希薄化後	366,875千株	366,866千株	

純売上高

● 中間期として過去最高となりました。

受取利息・配当金

● 保有株式の配当金が増加しました。

法人税等

● 国内の税制改正等に伴い減少しました。

(注) 前年中間期の「1株当たり情報」については、米国において一般に認められた会計原則における1株当たり利益に係る基準に準拠し、平成25年10月1日に実施した株式分割(普通株式1株を2株に分割)を、前期の期首(平成25年4月1日)に実施したものと仮定した情報を記載しています。

連結キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

科目	前年中間期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当中間期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	74,465	63,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 53,767	△ 87,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,369	△ 22,037
現金及び現金等価物に係る換算差額	5,160	7,798
現金及び現金等価物の増加(△減少)額	11,489	△ 37,374
現金及び現金等価物の期首残高	305,454	335,174
現金及び現金等価物の期末残高	316,943	297,800

会社概要 (平成26年9月30日現在)

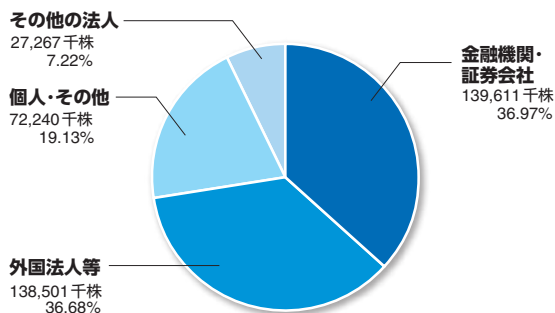
- **社名** 京セラ株式会社
- **英文社名** KYOCERA Corporation
- **本社所在地** 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地
- **設立** 昭和34年(1959年)4月1日
- **従業員数** 連結69,072名 単独14,013名
- **発行済株式総数** 377,618,580株
(うち自己株式数 10,754,038株)
- **株主数** 62,355名
- **大株主(上位10名)**

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,556	8.06
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	21,306	5.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,235	5.52
株式会社京都銀行	14,436	3.94
稲盛 和夫	11,212	3.06
公益財団法人稲盛財団	9,360	2.55
ケイアイ興産株式会社	7,099	1.94
BNPパリバ証券株式会社	7,058	1.92
京セラ自社株投資会	5,372	1.46
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,077	1.38

注1) 持株数は千株未満を四捨五入して表示しています。

注2) 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



取締役及び監査役

代表取締役会長	久 芳 徹 夫	取 締 役	ジョン・ギルバートソン
代表取締役副会長	前 田 辰 巳	取 締 役	ジョン・リグビー
代表取締役社長	山 口 悟 郎	取 締 役	小野寺 正
専務取締役	駒 口 克 己	常 勤 監 査 役	鹿 野 好 弘
専務取締役	山 本 康 行	常 勤 監 査 役	前 耕 司
取 締 役	石 井 健 健	監 査 役	西 枝 攻
取 締 役	大 田 嘉 仁	監 査 役	安 田 喜 憲
取 締 役	青 木 昭 一	監 査 役	稲 田 二 千 武
取 締 役	触 達 洋 司	監 査 役	古家野 泰 也

執行役員

執行役員社長	山 口 悟 郎	執 行 役 員	飯 田 真 幸
執行役員専務	駒 口 克 己	執 行 役 員	後 藤 雄 次
執行役員専務	山 本 康 行	執 行 役 員	山 下 洋 一
執行役員専務	石 井 健 健	執 行 役 員	小 山 繁
執行役員常務	大 田 嘉 仁	執 行 役 員	嘉 野 浩 市
執行役員常務	青 木 昭 一	執 行 役 員	後 藤 政 治
執行役員常務	触 達 洋 司	執 行 役 員	吉 田 英 雄
執行役員常務	伊 達 洋 司	執 行 役 員	小 谷 野 俊 秀
執行役員上席	北 村 信 夫	執 行 役 員	稲 垣 正 祥
執行役員上席	中 村 由 春	執 行 役 員	工 藤 宏 哉
執行役員上席	神 野 純 一	執 行 役 員	佐 藤 隆
執 行 役 員	佐々木 節 夫	執 行 役 員	ロバート・ウィスラー
執 行 役 員	灘 和 之	執 行 役 員	山 下 浩 幸
執 行 役 員	木 里 重 亮	執 行 役 員	船 戸 川 洋
執 行 役 員	伊 藤 雅 章		

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 - 株主確定の基準日 定時株主総会、期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
 - 定時株主総会 6月
 - 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<http://www.kyocera.co.jp>) に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。
 - 上場証券取引所 東京、ニューヨーク
 - 単元株式数 100株
 - 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 各種お問い合わせ先 電話番号 0120-094-777 (通話料無料)
- [受付時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)]
- ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式に関するお手続きについて

1. 「住所変更」、「買取・買増請求」、「配当金の受取方法の指定」等の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)でのお手続きが必要ですので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 「郵便物の発送と返戻に関するご照会」、「未受領の配当金に関するご照会」及び「特別口座に記録された株式に関する各種お手続き」につきましては、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。



京セラ株式会社

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 〒612-8501
電話: 075-604-3500 (大代表)

<http://www.kyocera.co.jp>



www.facebook.com/kyocera.jp

京セラの情報は、京セラ Facebook ページでもご紹介しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。